



【小学1年生・2年生】

特選 どんこのぼくよりでかいさつまいも

稲枝北小学校1年 柿添 康介

(評)

どんこになって、さつまいものしゅうかく。コロコロと出てくるさつまいも。そのとき、大きな大きながゴロンととれた。ぼくよりでかいこのひょうげんは、そのおどろきとじわつとわいてくるよるこびにあふれています。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

特選 行ってきますきがゆれるおときれいな

城東小学校2年 池田 杜愛

(評)

行ってきますすとうちを出るとききづく木のゆれるおと。ともだちとあそびにいくとき木のおとなどきかないだろう。あまりきのすすまないところにいくときに、たとえばびよういんにいくとき、きこえてきたきれいなおとのよにおもえます。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 じんじゃにわすれものをしとりにいく

城西小学校2年 北村 修和

(評)

だれでもわすれものはするしとりにももどる。でもそこが神社のもりなんだ。そのくらいもりにひとりではいつてゆくとき、思いもよらないしずけさがあり、大きな木があり、鳥がないている。ひとつひみつの場所が生まれる。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 きんようびプリンをたべてげんきだよ

城東小学校1年 西村 美空

(評)

きんようびというのにひかれます。しゅうまつのかまのプリンをたべる。げんきだったことをよろこび、これからのいつしゅうかんをがんばろうとおもう。きんようびのおいしいプリンがまちどおしく、すいようびがすぎてゆく。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 ふうるでねおばさんみたよよいでた

城東小学校1年 大久保 智貴

(評)

おばさんをプールでみかけるとはおもわなかった。なぜだろう。しかも、あのふとつちよのからだとてもじようすにおよいでいる。ちよつと尊敬してしまう。そんな気持ちがおに伝わってくる楽しい句になっています。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 だいすきなママのえがおとタマゴスープ

平田小学校1年 森 有梨亜

(評)

だいすきなママのだいすきなえがおとそのママがえがおで作ってくれただ
いすきなタマゴスープ。きつとものおいしいんだらうな。さいこうの
しあわせ感があふれる句です。ママとニワトリにかんしゃです。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 あきですよさんまを食べるじきですよ

城東小学校2年 吉田 姫歌

(評)

おかあさん、とよびかけているのだからか。さんまを食べたいのなら、た
べたいといえはよいのに。さんまがおいしいじきなんですよねとおまわし
にいつてみる。そういわれたら、おかあさんはさんまをやくしかないのです。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 おかわりをいっぱいするねおかあさん

佐和山小学校1年 岡山 杏奈

(評)

おかあさんにかんしゃしているようすがよくわかります。ありがとうとは
かいていないからよけいにそれがつたわるのです。それはそうなんだけど、
このおかあさんはお元気なのでしょうか。すこしふあんにさせるいい句です。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

佳作 くりのきにはりをさしたらおれますか

若葉小学校2年 服部 彪

佳作 あかとんぼぼくのほうみてとんでるよ

佐和山小学校1年 中村 朔也

佳作 たのしみだもうすぐふゆがやってくる

城西小学校2年 吉田 創希

佳作 さんぽみちひこうきぐもがみえました

佐和山小学校1年 加藤 冨都

佳作 おじいちゃんつくってくれるくりごはん

佐和山小学校1年 大内 柚果

佳作 あかとんぼいろんなそらをとんでいる

城北小学校1年 杉本 ちひろ

佳作 おつきさまぼくといっしょにおにぎり

佐和山小学校1年 岸本 直

佳作 としよしつはいろいろほんがあっていい

河瀬小学校1年 岡田

七海

佳作 はるはいいかぜだいいかぜありがとう

城西小学校1年 辻

晴功

佳作 かぶとむしとんできたのでつかまえた

稲枝北小学校1年 徳田

巧磨

佳作 みつけたよきらきらひかっただんぐりを

佐和山小学校1年 正村

心乃

佳作 さむいひにさくらをみたよきれいだよ

佐和山小学校1年 平井

柚希

佳作 コスモスがさきすぎているいいにおい

城東小学校2年 ロイ

友貴

入選 やれやれだあめがふったよずぶぬれだ

河瀬小学校1年 藤原

昊汰

入選 やおやさんおいしいやさいありがとう

若葉小学校2年 秋宗

実亜

入選 どんぐりがころころおちてかわいそう

城東小学校1年 樋口

千瑛

入選 はーもにかきれいなおとがすきなんだ

佐和山小学校1年 西川

友花

入選 けしごむをだいにするよほんとだよ

河瀬小学校1年 坂上

和

入選 どんぐりがふたついつしよにおちてきた

城東小学校1年 佐藤

愛瑠

入選 ささぶねにどんぐりのせたすすんだよ

河瀬小学校1年 今村

桜心

入 選 きづいたよぶどうがひとつおちていた

城東小学校1年 馬場

唯人

入 選 またあおうひっこしてもだいじょうぶ

城南小学校1年 國安

祐衣

入 選 つきみのときはおもちがたべたいです

城西小学校2年 松尾

心愛

入 選 ひるやすみさかだちをしてたのしいな

城西小学校1年 穂元

実和

入 選 おべんとうおちばのうえでたべたいな

城北小学校1年 川瀬

広太

入 選 あきのよるうさぎがみえたおつきさま

佐和山小学校1年 土田

萌瑛

入 選 いちりんしゃこけてもおきてもういちど

佐和山小学校1年 小堀

芽愛

入 選 かなへびはかわいかったよさわれたよ

河瀬小学校1年 山元

逢優

入 選 たからものママからもらったゆびわだよ

城西小学校1年 一谷

紗由音

入 選 おそらからやまのふうけいみてみたい

河瀬小学校1年 渡辺

緑海

入 選 おもたいよっぱいはいるらんどせる

佐和山小学校1年 横川

凜太郎

入 選 せんせいのはおおきいなんぞかな

河瀬小学校1年 島田

空斗

入 選 なえうえてしゅうかくしたさつまいも

佐和山小学校1年 三宅

聖也

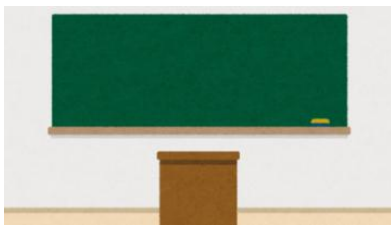
【小学3年生・4年生】

特 選 黒板にチョークで白く文字書いた

城東小学校4年 松井 杏樹

(評) ホワイトボードではない、黄や赤のチョークでもない。白のチョークを使って、伝えたい気持ちを黒板に書く。将来の希望だろうか？ いずれにせよ、作者の心は決まっているのでしょう。説明句ではなく上手にまとめられました。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)



準特選 おれさまは秋のていばん秋刀魚だぜ

佐和山小学校4年 山本 芽以

(評) 何ともユニークな手法で読者にせまってくる。思わず笑ってしまいそうな、好物な食べ物をぎ人化させている。何げなく詠んでいる中に、確りと思いが伝わり、自分らしさをうまく表現しています。力強さ溢れる一句になりました。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

準特選 お月さまお空の上でピカピカと

城東小学校4年 中西 翔愛

(評) 自転しながら、約一か月で地球を一周する月。さえ渡る冬の夜空。見上げると、大きなお月さま、辺り一面名のない星が輝いている。まるで、私に話しかけるように、歩くと付いてくる。いつか行ってみたいな・・・あの月へ。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

準特選 さなぎたち早くちようになれがんばれよ

稲枝東小学校3年 高橋 陸

(評) 虫かごで、成虫(昆虫)になるさなぎを育てているのでしょうか。朝起きて、夜眠るまで気になって仕方がない。今日もまだ、だっぴはしない。どんなちようだろうか？ 毎日かんさつをしながらエールを送る。温かい句がうれしい。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

佳作	ひるごはんとでもおいしいおべんとう	城東小学校3年	将亦	莉星
佳作	秋の空いつてみたいな雲の上	稲枝東小学校3年	竹村	恵人
佳作	たのしみだびわ湖一周秋のたび	稲枝北小学校4年	村井	煌
佳作	オレは虫きれいな声を聞かせるぞ	佐和山小学校4年	岡田	和士
佳作	ひとくろうやっつくれたゆきだるま	城東小学校3年	村川	萌々子
佳作	読書では本の世界に入りこむ	城東小学校4年	小市	陽菜
佳作	毎日の漢字がんばるていねいに	稲枝東小学校3年	渡邊	滉大

入選	大すきな小数の問題手をあげる	稲枝東小学校3年	上田	蓮人
入選	楽しいよスラスラとける計算は	稲枝東小学校3年	北村	飛璃
入選	バッティングあまり打てなくやしいな	城東小学校4年	藤野	良宗
入選	目の前の一人ぬかしてゴールイン	平田小学校4年	山田	聖也
入選	クラスにはいつもえがおがあふれてる	若葉小学校3年	山岡	蘭丸
入選	おそうじでピカピカになるぼくのへや	城東小学校3年	阿武	勇輝
入選	けんどうでめんをうてたようれしいな	城西小学校3年	木村	太一

入 選

もみじの葉赤や黄色のカーペット

稲枝東小学校3年

岩尾

泉美

入 選

あめんぼがにんじやみたいにおよいでる

城南小学校3年

高橋

みのり



【小学5年生・6年生】

特 選

きもちよくさかなみたいにおよぎたい

城南小学校6年

辻

四葉

(評)

魚たちは水の中を生きる力をみなぎらせて泳いでいます。私たちも自由に泳ぐ魚のように夢や希望に向かって生きて行きたいと思います。その気持を「さかなみたいにおよぎたい」と表現したのだと思いました。元気いっぱいおよぎましようね。

(彦根文芸協会

今井

和子)

特 選

一年生ランドセルはおもいかな

城西小学校5年

佐渡

俊介

(評)

一年生のランドセルには希望や夢もたくさん入っています。一年生のとこのランドセルのこと、今のランドセルのことなど思うことがたくさんあるのでしょう。「重いかな」のことはたくさんさんのことがつまっていて、意味の深い句になりました。

(彦根文芸協会

今井

和子)

準特選 おねえちゃん私にあたるながまんしろ

平田小学校6年 松山 美月

(評) きつとどこの家にも誰にでもあること、お姉ちゃんの気持をちゃんと受け止めてあげている。きつといい姉妹なのですね。素直に表現出来ました。その場面や気持ちがスカッと分かるいい句です。

(彦根文芸協会 今井 和子)

準特選 おかあさんおいしくたべたよおべんとう

城西小学校5年 小川 朋子

(評) とても素直にお母さんのおべんとうが、おいしかったことを、そのまま表現しています。お母さんの思いがおべんとうの中にいつまっついていましたね。お母さんはまた、たのしくおいしいおべんとうを作ってくださいることでしょう。

(彦根文芸協会 今井 和子)

準特選 家帰るただいまの声よくひびく

城東小学校6年 善田 遼平

(評) あなたの大きな声が家中に響きました。元氣よく帰ってきた様子がとてもよく伝わってきます。家に帰ったよるこびが、句全体からあふれているようです。力強くてのしい句です。

(彦根文芸協会 今井 和子)

準特選 プルプルとプリンのおいしさはじけるよ

城西小学校5年 寺澤 菜乃羽

(評) 大好きなおいしいプリンを食べた喜びが、「はじけるよ」のひとことで全部表現出来ていますね。ぷるぷるとプリンも「おいしいでしょう」と大喜びしているようです。

(彦根文芸協会 今井 和子)

佳作 席替え前どこになるかなワクワクだ

平田小学校 6年

樋口 瑞妃

佳作 元気わくきれいな声が遠くから

城東小学校 6年

田部 希乃

佳作 七夕だみんなのねがい見せてみな

佐和山小学校 5年

柿原 優子

佳作 もしもしだれですか電話の相手

若葉小学校 5年

奥野 湊也

佳作 波の音海においてと合唱だ

若葉小学校 5年

北村 天

佳作 えんそくの前の夜だけねむれない

城東小学校 5年

岡野 晃大

佳作 列車見て遠くの祖母を思い出す

城東小学校 6年

北村 勘也

佳作 モミジたちいろとりどりにおしゃべりだ

城東小学校 5年

伊藤 唯成



入 選

墓参りご先祖様にもプレゼント

佐和山小学校 5年

吹田

萌望愛

入 選

わらいあうそんなじかんがだいすきだ

佐和山小学校 6年

高橋

奈々花

入 選

ほかほかのご飯と一緒に焼き秋刀魚

城東小学校 6年

井入

聖奈

入 選

テーブルをかこんではなすごはんとき

佐和山小学校 6年

山川

悠月

入 選

いい音色ぽつんぽつんと雨の音

城北小学校 5年

石ヶ崎

葉菜

入 選

それぞれの思いをこめて歌おう

城東小学校 6年

三須

麻友香

入 選

テレビ見たい宿題終わらず泣けてくる

城東小学校 5年

小山

みなみ

入 選

夕焼けをみたら心がぽっかぽか

城西小学校 5年

安田

仁一朗

入 選

あたたかいふとんめくられおきるあさ

若葉小学校 6年

酒井

風香

入 選

ケーキ食べ心の中はおどってる

平田小学校 6年

高木

美園

入 選

にんぎょうを夜に見ると動きそう

若葉小学校 6年

藤野

結衣

入 選

CMでチャンネル変えるとすぐCM

若葉小学校 6年

田村

優衣

【中学生】

特 選 かつこいいそんけいされる先輩は

南 中 学 校 1 年 寺 村 実 穂

(評) 中学に進学した時、体も大きく、勉強もでき、スポーツ万能のやさしい先輩に出会ったら、だれでもすごいと思います。部活でそのような先輩に会い、自分の目標に決めたのですね。とても素直に気持ち伝えます。学校生活が楽しそう。

(彦根文芸協会 森口 ますこ)



準特選 友達にラインじゃなくて会いに行け

南 中 学 校 1 年 塩 谷 涼 花

(評) この頃、近くの友達同志でもラインですまします。直接向き合って話す機会がへってきています。悲しいことです。この句は、自分にも廻りの友達にも直接会うことを奨励しています。とてもうれしいです。

(彦根文芸協会 森口 ますこ)

準特選 試合では自分が活やくしてみせる

南 中 学 校 1 年 上 林 利 綺

(評) 毎日の練習の結果が試合にあらわれます。さぞかし頑張って努力してきたでしょう。その努力が自信となってきた句です。毎日の努力を忘れないでください。すばらしい句ができました。

(彦根文芸協会 森口 ますこ)

佳作 命はね1人に1個たいせつだ
南中学校1年 市場 玄人

佳作 よみがえるスタート前のきん張感
南中学校1年 福田 真優

佳作 ラケットに力をこめて点とるぞ
南中学校1年 織田 乙葉

佳作 あと一歩その先にある夢と希望
彦根中学校3年 柏原 真子

入選 部活動短い時間で気合入れ
南中学校1年 眞田 桃花

入選 バレーボール必死につないで攻撃だ
南中学校1年 江頭 友哉

入選 あきらめないねばる力が強くなる
南中学校1年 大野 莉彩

入選 どきどきしテストをもらい落ち込んだ
南中学校1年 田口 潤

入選 ともだちは深い絆で包まれる
南中学校1年 上田 紗矢香

入選 なやむときそれはあなたのだい一歩
彦根中学校3年 中出 怜子

【総評】

どの学年も、回を重ねるごとに、少しずつ川柳の視野が開けるのが感じ取れます。一句一句を丁寧に審査いたしました。ユニークな句や頼もしい句、優しい句などがあり嬉しく思っております。

昨年と一昨年には、習った漢字を遣うことを強くお勧めしてきましたが、今年度は昨年に比べ、全て平仮名で詠まれている句が随分と少なくなりました。喜ばしい限りです。これは、社会人になったときに役に立つものです。

今年度、中学生の作品数が、昨年に比べ約二割に減少しました。残念なことです。日常生活の中で句の材料は溢れています。学年によっては、同じような句が多いのが現実ですが、上手に書こうと思わないで、ありのままを。勉強のこと、部活動のこと、家庭でのことを、川柳の言葉で思いを深く届けてください。若い個性豊かな表現力を、来年度の子どもたちに期待して止みません。

（彦根文芸協会 須田 さゆり）

